

# 自立活動実態把握チェックシート

記入者:	実施日	年	月	日
クラス:	部	ブロック	年	組

令和5年度版

児童生徒名	イニシャル

## チェックシートの活用の仕方

ねらい:子どもを視る目の視野を広げる。

子どもの実態把握や共通理解をする材料として活用する。

細かい項目で子どもを見直すことで、子どもの行動の「なぜ」にせまる。

個別の指導計画様式2の実態把握に利用する。

やり方:個々で記入する。

子どもの実態にあてはまる項目に○(まる)を入れる。

実態に合わない項目(課題にならない項目)は空白にする(飛ばし読みで大丈夫です)。

実態にあてはまるかどうか分からない項目に△(さんかく)を入れる。

(△を入れた項目については、実態把握を行って、当てはまるなら○を入れ直す)

## 1 健康の保持

## (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること

## 〈覚醒と睡眠〉

①授業中ずっと眠っている									
②週明けや週末、行事や外の活動などの翌日に活気がない									
③目を覚ましはするが、覚醒レベルが低い									

## 〈健康状態の把握〉

①何となく元気がない									
②体調を崩しやすい									
③体温が高い、または低い									
④泣くことが多い									
⑤食欲がない									
⑥排尿の回数や量がその日によって違う									

## 〈体温の調整〉

①体温が外気温に左右されやすい									
②熱がこもりやすい									
③低体温である									
④気温や室温に応じた衣服の調節ができない									
⑤暑いときに自分から水分をとろうとしない									
⑥発熱したり風邪をひいたりしやすい									
⑦手足が冷たい									
⑧極端に暑がったり、寒がったりする									
⑨汗をかきにくい									

## 〈呼吸・排痰〉

①SpO <sub>2</sub> が95%以下のときが多い									
②呼吸状態が不安定(肩呼吸、鼻翼呼吸、陥没呼吸など)である									
③顔色や唇、爪が白くなる、または紫色(チアノーゼ)になるときがある									
④息を吸うときにゲーゲー、ガーガーなどの音がする(気道が狭い)									
⑤ゼコゼコ、ゴロゴロなど痰をからませた呼吸をする(分泌物が多い)									
⑥ヒューヒューなど喘息様の音がする									
⑦呼吸が浅い									

## 〈食事〉

①口の周りを触られることを嫌がる(口の周囲が過敏である)									
②食べ物を口の中に入れられることを嫌がる									
③いつも(食事中も)口が開いている									
④口から食べる経験が少ない									
⑤口を上手く開けることができない									
⑥食事中によくむせる									
⑦食後むせたり、嘔吐したりすることがある									
⑧食事中に突っ張って食事ができない									
⑨食事中30分程度経過すると、うとうとしてしまうことがある									
⑩自分から食べようとしな									
⑪食べる意欲がない、または低い									
⑫食べ物を摂り込む際に、口を大きく開けすぎてしまう									
⑬食べ物を摂り込む際に、口唇を閉じることができない									
⑭食べ物を食べる際に、口を大きく開けたまま閉じない									
⑮かじり取りができない									
⑯スプーンを噛みすぎて離すことができない									
⑰食べ物を処理する際に舌が出ている									
⑱咀嚼中に舌の動きが少ない									
⑲咀嚼が上手くできない									
⑳嚥下が上手くできない									
㉑水分を上手く飲めない									
㉒噛まずに飲み込んでしまう									
㉓口の中に食べ物をためてしまう									
㉔一度に口にたくさん入れてしまう									
㉕食事のマナーを守ることができない(姿勢、手づかみ、食べこぼし、離席など)									

⑫口の周りが汚れていても気にしない																				
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

＜排泄＞

①尿意や便意がない、または不確実																				
②排泄のリズムが一定していない																				
③おむつやパンツが濡れていても平気である																				
④出したいのに、力が入って出せないことがある																				
⑤環境が変わると出なくなる																				
⑥少しずつ尿が出て、いつもパンツが濡れている																				
⑦トイレに行くのを嫌がる																				
⑧トイレ以外で排泄することがある																				
⑨便秘気味である																				
⑩排泄の意思表示が明確でない																				
⑪排泄時失敗をしたときに周りの大人に伝えることができない																				
⑫トイレを適切に使用すること(ドアを閉める、ズボンの下げ方、水を流す、便器を汚した後の処理など)ができない																				

＜清潔・衛生＞

①歯磨きを嫌がる																				
②歯磨きをすると、すぐに血が出る																				
③歯肉の色が悪い																				
④口臭がする																				
⑤歯磨きや手洗い、洗面の必要性が認識できていない																				
⑥歯磨きの後に口腔内をすすぐのが難しい																				
⑦手洗いや洗面を嫌がる																				
⑧よだれや鼻水が常に出ている																				
⑨よだれで服を濡らしてしまう																				
⑩よだれや鼻水を手や服などでよく拭く																				
⑪目やにがついている、爪が伸びているなど、清潔を意識できていない																				
⑫服装や髪が乱れている																				

(2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること

＜病気の状態の理解と改善＞

①病気について知識がなく、理解できていない																				
②具合が悪くても、その原因が理解できない																				
③病気について少しはわかるが、自分で管理することができない																				
④アレルギーがある																				
⑤てんかん発作を起こす																				
⑥自分の平熱を理解している																				
⑦ぐったりしていることがある																				
⑧すぐに口唇が紫色になり(チアノーゼ)、顔色が青白く、手足が冷たくなりやすい																				
⑨常に吐き気がある																				
⑩よく頭痛、腹痛、歯痛などがある																				
⑪息切れがある																				
⑫めまいやたちくらみがある																				

＜病気の進行防止＞

①病気に対する配慮事項がわからない																				
②病気を改善する意識が低い																				

＜服薬・薬の管理＞

①薬を正しく服用できない(時間・回数・飲み方など)																				
②薬を飲みたがらない																				
③薬を飲む意味が理解できない																				

＜移動機器などの管理＞

①自分が使用している移動機器(車椅子や歩行器など)や装具の管理ができない																				
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること

<身体各部の状態の理解>

①病気や事故などによる身体各部の状態がわからない																				
②作業のときに姿勢が崩れても気付かない																				

<養護方法の習得>

①自分で身体各部を養護することができない																				
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<症状の進行防止>

①脊柱側彎などの変形や拘縮などがある																				
②同じ方向に姿勢が傾いている																				
③褥そうがある																				
④自力で姿勢変換ができない																				
⑤脱臼・亜脱臼している																				
⑥脚長差がある																				
⑦切断している																				

(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること

<障害の特性の理解>

①何となく、学習に集中できない																				
②イライラする原因が分かっていない																				
③話そうとするが上手く話せない																				
④自分の苦手なことの理由が分かっていない																				
⑤自分の上手いかないうところを、周りのせいにする																				

<環境の調整>

①友達と上手い出来ないが、どうしたら良いか分からない																				
②苦手なことは分かっているが、どうしたら良いか分からない																				

(5) 健康状態の維持・改善に関すること

<病気の予防>

①健康状態を明確に訴えることが、困難である																				
②外気や日光などの外界からの刺激を受ける機会が少ない																				
③抵抗力が弱く、風邪をひきやすい																				
④皮膚感染症にかかりやすい																				
⑤血行が悪く、しもやけになりやすい																				
⑥よだれ、鼻水、尿、便の後始末が難しいため不潔になり皮膚がただれやすい																				
⑦尿路感染症になりやすい																				
⑧虫歯、歯肉炎、歯周病などになりやすい																				
⑨運動制限の範囲を超えてしまい、病気が悪化してしまう																				

<体力の維持>

①運動量が少ない																				
②体力がなく、疲れやすい																				

<食の管理>

①肥満、または痩せている																				
②必要以上に食べ過ぎる(過食)、食べる量が極端に少ない(少食)																				
③間食をすることで、食事時間がずれたり食事量が少なかったりする																				
④食欲不振である																				
⑤自分から食べない(拒食)																				
⑥好き嫌いが激しい(偏食)																				
⑦食べ物以外のものを食べる(異食)																				
⑧水分を取りたがらない																				

<生活環境の整備>

①室温などの変化に対して対処できない																				
②暗い中で本を読んだり、パソコン操作やテレビ視聴をする																				
③周りの状況や、足元に何があるか確かめことなく歩き回る																				
④動きが活発でけがをしやすい																				
⑤異物を耳や鼻、目に入れる																				
⑥危ないということが理解できない																				

## 2 心理的な安定

### (1) 情緒の安定に関すること

#### 〈情緒のめばえ〉

①反応が乏しく、表情の変化が表れにくい									
②快・不快感を表わすことができるが、表現方法が限られている									

#### 〈気持ちの安定〉

①感情の起伏が激しい									
②自分の思い通りにいかなかったり興奮したりすると、自分では落ち着くことができず、泣き叫んだりかんしゃくを起こしたりする									
③気持ちが安定しない(奇声、リフレイン、常同行動など)ことがある									
④自傷行為、または他傷行為がある									
⑤手順ややり方にこだわりがある									
⑥いらいらしたときに、自分勝手に教室から出てしまう									
⑦動き回って、活動に参加することができない									
⑧特定の物に固執しており、それがないと落ち着かない									

#### 〈安心して活動に取り組む〉

①経験したことのない活動を怖がり、強い抵抗を示す									
②失敗経験のある活動に自信をなくし、取り組もうとしない									

### (2) 状況の理解と変化への対応に関すること

#### 〈状況の理解〉

①動き回って、学習に集中できない									
②初めての活動に参加しにくい									
③自分の思い通りにならないとかんしゃくをおこす									
④場面に関係のないことを言う									
⑤周りの状況が変わったことに気付かない									

#### 〈状況の変化への対応〉

①日時、場所、スケジュールなどが変わると不安定になる									
②物事を行う手順やそのやり方にこだわりがあり、その通りでないと落ち着かない									
③人前に出ると、緊張が高まったり、言葉が出にくかったりする									
④人前に出ると、身体に余分な力が入る									

### (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること

#### 〈改善・克服への取り組み〉

①受身的で自分から行動することが少ない									
②できることも人にすぐ頼んでしまう									
③他人の目や評価を過剰に気にする									
④自分の能力を過小評価する									
⑤投げやりな様子があるなど、学習に積極的に取り組もうとしない									
⑥進路や将来の生き方について悩んでいる									
⑦自分の障害のことをよく理解せず、誤解している									
⑧自分の障害のことを過度に気にして、消極的になりがちである									

## 3 人間関係の形成

### (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること

#### 〈人への関心〉

①呼名や呼びかけに対して、ほとんど表情の変化が見られない									
②誰に対しても反応が同じである									
③特定の人への甘えが見られない									
④好きな物には興味を示すが、人にはあまり興味を示さない									
⑤特定の大人以外とのかかわりを嫌がる									
⑥大人とのかかわりはもてるが、子ども同士のかかわりはほとんど見られない									

#### 〈注意の共有〉

①なかなか目が合いにくい									
②働きかけても反応が弱くこちらを向いてくれない									
③相手の指した物や方向を見れない									
④相手の指示や要求に気が付きにくい									

## (2) 他者の意図や感情の理解に関すること

＜感情の理解＞									
①自分の気持ちが表現できない									
②友だちとのトラブルが多い									
③授業の感想を聞いても「楽しかった」「うれしかった」としか話さない									
④同じ話題を何度も繰り返して話し続ける									
＜感情の読み取り＞									
①注意されても笑っている									
②他人の表情から感情を理解することが難しい									
③相手の意見を聞かずに自分の意見ばかりを言い続ける									

## (3) 自己の理解と行動の調整に関すること

＜自己認識＞									
①「何もできない」と言って、しない									
②自分のことについて話すことが苦手である									
③自己評価が低すぎる、または高すぎる									
④できないことをできると言ったり、しようとしたりする									
⑤失敗を怖がって未経験な活動に取り組むことができない									
⑥一度失敗したことに再び取り組もうとしない									
⑦友だちの失敗や悪い点ばかりを指摘している									
＜行動の調整＞									
①力の加減をつけられない									
②大人や友達とかかわろうとするが、かかわり方が適切でない									
③「待ってね」「後でね」と言われても、自分のしたいことを我慢できない									
④細かいことにこだわりすぎる									
⑤場面に関係のない話をする									
⑥気持ちの切り替えができない									
⑦要求がかなわず、いらいらしてしまったときに人にあたってしまう									

## (4) 集団への参加の基礎に関すること

＜集団活動への参加＞									
①集団の中に入りたがらない、すぐに出ようとする									
②集団の活動になると不安定になったり、泣いたり大声を出したりする									
③自分がいるべき場所、集団や仲間が分からない									
④集団に入っても誰ともかかわらない									
⑤集団の中でトラブルを起こしやすい									
＜集団に参加するための手順やきまりの理解＞									
①集団のルールを守ることができない									
②ルールを守って遊ぶことができない									
③公共の場所でマナーを守ることができない									
④集団での活動時に場を離れるなど、勝手なことをしてしまう									

## 4 環境の把握

## (1) 保有する感覚の活用に関すること

＜触覚＞									
①触覚刺激を受けても反応が見られない									
②身体(顔や髪の毛)に触れられることや、手を繋ぐことを嫌がる									
③過度に好き、または嫌いな感触がある									
④靴下、手袋、マフラー、帽子などをつけたがらない									
＜前庭覚＞									
①姿勢変換を極端に嫌がる									
②高所や不安定な場所を嫌がる									
③揺れや回転の刺激を受けても、あまり反応が見られない									
④大きい揺れや激しい回転を好み、いつまでも要求する									
⑤乗り物に酔いやすい									
＜固有覚＞									
①目で確認しないと「手を真横に挙げなさい」などの指示に正確に応えられない									

②腕や脚を動かされても、それに気付いたような表情の変化や動きが見られない									
③ジェンガなどを行う際にゆっくり手を動かすことが難しい									
④動きがぎこちない									
⑤模倣が難しい									
⑥力加減が調整できず動作が乱暴になる									

<視覚>

①暗い場所から明るい場所に移動したときに、まぶしそうにしない									
②太陽光は感じているが、ライトや電気スタンドの点滅には反応が見られない									
③板書をノートに書き写すことができない									
④話し掛けられている教師や指示された物に視線を向けることができない									
⑤話し掛けられている教師や提示された物を見続けることができない									
⑥ある物から別の物に視線を移すときにすぐに対象をとらえられない									
⑦人や物の動きを目で追うのが難しい									
⑧人や物の動きを目で追うときに頭を一緒に動かしてしまう									

<聴覚>

①呼びかけや音の変化に対する反応が見られない									
②大きな音には反応するが、身近な人の声のする方に視線を向けることができない									

(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること

<視覚の過敏性>

①日光や蛍光灯の光が気になったり、まぶしかったりする									
②テレビやパソコンの画面から目をそらす									

<聴覚の過敏性>

①特定の音(楽器、ホイッスル、スピーカーの音、掃除機の音など)に耳をふさいだり泣いたりして、不快感を訴える									
②普通の高さや大きさの声で話しかけられても驚く									
③体育館など音の響く場所に入りたがらない									
④普段の生活の中でいつも耳をふさいでいる									

<触覚の過敏性>

①軽く触られたときに過度に痛がる									
②人と手をつなぐことを嫌がる									
③砂や土に触れなかったり、砂遊びなど手足が汚れる遊びを避けたりする									
④裸足になることを嫌がる									
⑤特定の素材の服を着ることができない									

<口腔内・味覚の過敏性>

①濃い、または薄い味の食べ物が苦手である									
②固い、または軟らかい食べ物が苦手である									
③混ぜご飯が苦手である									
④歯磨きでブラシが歯ぐきにあたるのが苦手である									
⑤スプーンやフォークが口に入るのを嫌がる									
⑥ねばねばした物が苦手である									
⑦特定の味(酸っぱい、辛い、苦いなど)が苦手である									

<嗅覚の過敏性>

①臭いを気にしすぎる、または嫌な臭いがある									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<視覚的な注意の集中>

①複数の掲示物から目的の教材に注意を向けることが難しい									
②廊下の人が気になったり、新しい人が部屋に入るたびに反応したりする									
③自分の影や光の反射、回っている物などが気になる									
④掲示物に貼ったテープの跡が気になる									
⑤図示された教材のどこに注目して良いか分からない									

<聴覚的な注意の集中>

①教室内のエアコンや加湿器の音が気になる									
②一斉に出された指示を聞き逃す									
③話す人に注目することが難しい									
④長く話を聞くことが難しい									
⑤同じことを何度も聞く									

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑥話の途中でぼうっとして、内容が分からなくなる

＜認知の特性への対応＞

- ①「ぬ」と「め」など似た字を読み間違ふ
- ②一文字では読めるが、単語になると読み間違ふ
- ③文字や行を読みとぼしたり、文末を正しく読めなかったりするが多い
- ④文字を書き写したとき、余計な線があったり線が足りなかったりする
- ⑤枠の中に字をおさめて書けない

＜得意な認知の方法の活用＞

- ①作業や学習の手順を口頭で説明しても、十分理解できない
- ②作業や学習の手順を図で見せて説明しても、十分理解できない
- ③聞き間違いや言い間違いが多い

＜感覚の鈍感性＞

- ①くすぐられても平気な顔をしている
- ②けがなどの痛みにも鈍感である

(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること

＜視覚の補助・代行手段＞

- ①視覚障害がある

＜聴覚の補助・代行手段＞

- ①聴覚障害がある
- ②補聴器だけでは聞き取ることが難しい
- ③聞き誤りが多く、トラブルにつながりやすい
- ④日常の生活音または声や音が聞こえにくい
- ⑤話しを聞き取ることが難しい

(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること

＜ボディイメージ＞

- ①身体の絵を描かせると、手足などの位置がずれている
- ②トンネルを上手く、くぐれない
- ③色々な動きがぎこちない
- ④よく物や人にぶつかりながら歩く
- ⑤簡単な動作を模倣することができない
- ⑥狭いところを無理やり通ろうとする

＜目と手の協応動作＞

- ①見た物のところに手が伸ばせない
- ②物を操作するときに手元や対象物を見ない
- ③手に持ったボールを箱の中に上手く入れることができない
- ④転がってきたボールに手が伸ばせない
- ⑤牛乳パックにストローを入れられない

＜両側統合・ラテラルティ＞

- ①利き手が決まっていない
- ②右手、左手を区別して動かせない
- ③両手動作(はさみ、紙を破る、ボタンをかけるなど)が難しい

＜運動企画＞

- ①新たな活動になると、どう動いて良いか分からない、もしくは抵抗がある
- ②動きが遅くぎこちない
- ③身体全体を使う体操やダンスなどのまねができない
- ④相手から転がってきたボールを受け取ることができない
- ⑤相手にボールを投げたり、転がしたりすることができない
- ⑥ボールを蹴ることが苦手である
- ⑦ブランコをこぐことができない
- ⑧でんぐり返しができない
- ⑨スクーターボードやプラズマカーを動かせない
- ⑩自転車に乗れない
- ⑪スキップや縄跳びができない
- ⑫ケンケン(片足跳び)ができない
- ⑬上着やズボンを着るときに、順序良く手足を通すことができない



(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

＜触知覚＞																				
①色々な物を触っても同じような反応を示す																				
②物を触って、感触、形、大きさなどの違いを弁別することができない																				
③温度の異なる水や湯を触ってその温度の違いが確認できない																				
＜視知覚＞																				
①色々な物の形状を見て、それらの違いを弁別することができない																				
②2種類の物の視覚的特徴を見比べて、その違いを弁別することができない																				
③数種類の物の視覚的特徴を見比べて、その違いを弁別することができない																				
④色や模様の違いを弁別することができない																				
⑤同じ形で大きさが違う物の大きさの違いを弁別することができない																				
＜視覚による記憶＞																				
①目の前で隠された物を探し出すことができない																				
②見た物をしばらくの間覚えていることができない																				
＜聴知覚＞																				
①音には反応するが、音源の方を振り向くことができない																				
②音を聞き分けることができない																				
③音に対する反応はあるが、音や音楽を意識して身体を動かすことは難しい																				
④ざわざわしている中で相手の話に集中できない																				
⑤関係のない周囲の音に注意が向きがちである																				
＜聴覚による記憶＞																				
①直前に聴いた音や言葉を一時的に覚えていることができない																				
②短い単語などを正しく復唱できない																				
＜空間(位置)把握＞																				
①「片手を前、もう片手を上に出す」などの動きを模倣できない																				
②「前に進む」「左に動く」などの指示どおりに動くことが難しい																				
③給食の片付けのときに、お盆などを同じ向きに重ねられない																				
④並べて提示されたものの中から、向きの違うものを探すことができない																				
＜時間の把握＞																				
①時間の長さがわからない																				
②終了時刻になっても、いつまでも活動を続けている																				
＜恒常性の知覚＞																				
①向きが変わると、同じ形であるか分からない																				
＜図-地の弁別＞																				
①絵本の中から、特定の絵だけを探すことが難しい																				
②塗り絵をするときに、枠からはみ出してしまう																				
③簡単な地図の中から、教師が指示したところを見つけることが難しい																				
＜全体一部分関係の知覚＞																				
①分割された形を合成したり、絵を構成したりすることができない																				
②絵の一部を見ても、何の絵であるか分からない																				
＜分類＞																				
①色々な物を弁別することはできるが、仲間ごとに集めることができない																				
②給食の片付けのときに、食器を分けて置くことが難しい																				

5 身体の動き

(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

＜原始姿勢反射＞																				
①腹臥位になると、腕を胸あたりに引き込んで尻が突き出たようになる																				
②頭の向きによって手足が動き、左右非対称の姿勢が多い																				
＜不適切な筋緊張＞																				
①筋緊張が強い、または低い																				
②反りが強い																				
③関節拘縮がある																				
④脊柱側彎がある																				
⑤下肢が内転、内旋している																				
⑥背と腰と一緒に動き、体幹が曲がりにくい																				
⑦良い姿勢で座ってられない																				

⑧頭部が左右の一方だけを向く											
⑨肩を内側に入れている(前に出ている)											
⑩膝が過伸展である											
⑪立ったときに尻が出ている											
⑫立ったときにつま先立ちである											
＜頭部の動き＞											
①定頭ができていない											
②背臥位や腹臥位で頭部の動きが少ない											
③座位で頭部の動きが少ない											
＜腹臥位＞											
①腹臥位がとれない											
②肘立て腹臥位がとれない											
③腕立て腹臥位がとれない											
＜座位＞											
①座位がとれない、またはとつてもすぐに倒れてしまう											
②座位はとれるが、良い姿勢で座れない											
③座位はとれるが、手を伸ばして物を取ることができない											
④車椅子で座り直すことができない											
＜四つ這い位＞											
①四つ這い位ができない、またはとつてもすぐに倒れてしまう											
②四つ這い移動ができない											
③両手と両足を同時に引きつけるように移動する											
＜膝立ち位＞											
①膝立ち位ができない、またはとつてもすぐに倒れてしまう											
②膝立ち位はとれるが手を伸ばして物を取ることができない											
＜立位＞											
①立位がとれない、またはとつてもすぐに倒れてしまう											
②つかまり立ちはできるが、自分で立位はとれない											
＜姿勢変換＞											
①背臥位⇄座位ができない											
②腹臥位⇄座位ができない											
③座位⇄立位ができない											
＜上肢・手指の動き＞											
①上肢の動きがぎこちない											
②手指の動きがぎこちない											
(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること											
＜臥位のための補助具の活用＞											
①腹臥位を上手く保つことが難しい											
②呼吸が安定した背臥位がとれない											
③背臥位での姿勢が崩れてしまう(下肢の位置など)											
④側臥位を上手く保つことが難しい											
＜座位のための補助具の活用＞											
①自分で座位を保持できない											
②座位はとれるが、すぐにバランスを崩して倒れることが多い											
③座位はとれるが、姿勢が崩れやすい											
＜立位のための補助具の活用＞											
①自分で立位を保持できない											
②立位はとれるが、すぐにバランスを崩して倒れることが多い											
③立位はとれるが膝や股関節が曲がってしまう											
④立位はとれるが踵がつかない											
＜食事のための補助具の活用＞											
①スプーンから上唇で容易に取り込めず、食べ物が残る											
②一口量が多くむせる											
③スプーンを噛む											
④スプーンを口の奥まで入れてしまう											
⑤上手に握ったりすくったり、口に運んだりするスプーンの操作が難しい											

⑥箸を使って上手く食べることが難しい										
⑦食器から食べ物をすくうことが難しい										
⑧食器をしっかり押さえることが難しい										
⑨コップを握ることが難しい										

<排泄のための補助具の活用>

①座位のバランスが不十分で排泄するのが難しい										
------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<衣服の着脱のための補助具の活用>

①握る力が弱くてボタンの留め外しが難しい										
②ファスナーの上げ下げが難しい										
③靴下を履くのが難しい										
④靴を履くのが難しい										

### (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること

<食事動作>

①食べ物に手を伸ばすことはできるが、食具を使って食べることができない										
②スプーンやフォークで食べようとするが食べこぼしが多い										
③スプーンやフォークで食べようとするが、握る力や手の動きの調節が難しく、上手くすくったり刺したりできない										
④スプーンやフォークは使えるが、箸を使って食べることができない										

<排泄動作>

①洋式便器に一人で座って、排泄することができない										
②排泄時に、ズボンやパンツの上げ下げができない										
③ズボンやパンツを全部下ろし、お尻を出して排尿する(男性)										
④立って排尿できない(男性)										
⑤排泄後、紙で汚れを拭くことができない										
⑥レバーを動かしたりボタンを押したりして水を流すことができない										

<更衣動作>

①上着(シャツなど)を着脱することができない										
②ズボンの着脱が難しい										
③服の前後を間違える										
④靴下や靴の着脱ができない										
⑤ボタンの留め外しができない										
⑥ファスナーの上げ下げができない										

<入浴動作>

①身体を上手く洗えない										
②髪を上手く洗えない										

<手洗い・洗面動作>

①手を上手く洗うことができない										
②タオルで拭く習慣が身につけていない										
③洗顔が上手くできない										

<歯磨き動作>

①歯ブラシを歯に当てることができない										
②歯ブラシで上手く歯を磨くことができない										
③うがいができない										

<書字・描画動作>

①書字や描画が上手くできない										
②目と手の協応動作が上手くできない										
③筆記用具を握ることはできるが、コントロールが難しい										
④図形や文字を書く、なぞるができない										
⑤筆圧が弱い、または強い										

### (4) 身体の移動能力に関すること

<寝返り>

①背臥位から側臥位になることができない										
②側臥位から腹臥位になることができない										
③腹臥位から背臥位になることができない										

<這っての移動>

①腹臥位で動くことができない										
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②肘這い移動ができない										
③四つ這い移動ができない										
④高這い移動ができない										
⑤座位でのずり這い移動ができない										

＜膝立ち位での移動＞

①膝立ち位で足を交互に出して移動することができない										
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

＜歩行＞

①つかまり立ちはできるが、不安定である										
②安定したつかまり立ちはできるが、伝い歩きはできない										
③立位を取ることはできるが、足を踏み出すことはできない										
④不安定な歩行ですぐバランスを崩してしまう										
⑤手を上げるなどして上体でバランスをとって歩いている										
⑥歩いて立ち止る、歩きながら方向を変えるなどができない										
⑦後ろに下がることができない										
⑧坂道やスロープを登ることができない										
⑨坂道やスロープを下りるときにバランスを崩しやすい										
⑩階段を昇ることができない										
⑪階段を降りることができない										
⑫段差のあるなしにかかわらず、つまづくことが多い										

＜歩行のための用具の活用＞

①立位保持はできるが、自力歩行は難しい										
②数歩の自力歩行ができるが、すぐに座り込んでしまう										
③歩行器で歩くことができる										

＜松葉杖、杖の活用＞

①松葉杖や杖を利用し安定して立つことができない										
②松葉杖や杖で身体を支えることはできるが、両下肢を交互に動かせない										
③両下肢を交互に動かすことができるが、松葉杖や杖を使った歩行が安定しない										

＜車椅子の活用＞

①車椅子⇄床など、高さが異なる場所へ乗り移ることができない										
②車椅子⇄ベッドや便器など、同程度の高さの場所へ乗り移ることができない										
③車椅子(電動も)の操作が上手くできない										

(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること

＜机上での作業姿勢＞

①作業をしているとすぐに姿勢が崩れ、作業が長く続かない										
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

＜上肢・手指を使った諸動作＞

①目的の物に手を伸ばして触れられない										
②手で物を握ることができない										
③握った物を離すことができない										
④手首を動かして物を上手く叩くことができない										
⑤机の上にある物を押すこと、水平移動させることができない										
⑥机や窓を拭くことができない										
⑦手でかき回すことができない										
⑧拍手が上手くできない										
⑨大きな物が運べない										
⑩型に上手くはめることができない										
⑪ペンの蓋をつけたり外したりできない										
⑫玩具のブロックなどで遊べない										
⑬積み木を上手く積むことができない										
⑭物を両手で積み重ねる作業ができない										
⑮ドアのノブやピンの蓋を回して開けることができない										
⑯物を持ち替えるときに落としてしまう										
⑰スイッチが押せない										
⑱物をつまめない										
⑲プラグやUSBなどの抜き差しができない										
⑳自動販売機に硬貨を入れられない										

①ひもやビーズ通しができない																				
②ひも(靴紐も)を結ぶことができない																				
＜下肢を使った諸動作＞																				
①腰をかがめて物をとることができない																				
②しゃがんだまま(中腰)で作業ができない																				
③車椅子の足台に足を乗せることができない																				
④靴に足を入れることができない																				
⑤足で押すボタンやペダルが踏めない																				
⑥ボールを蹴ることができない																				
⑦自転車のペダルがこげない																				

## 6 コミュニケーション

### (1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること

#### ＜表情などの表出＞

①刺激に対する反応が乏しい																				
②表情の変化に乏しい																				
③特定の刺激(好きな人やおもちゃなど)には、何らかの表情やしぐさを表す																				
④要求を伝える手段が限定されている(泣く、怒るなど)																				

#### ＜要求＞

①困ったときに助けを求めずに諦めてしまう																				
②自分から手を伸ばしたり、声を出したりしてかわりを求めない																				

#### ＜身振り、手振り＞

①簡単な身振り、サインをして見せても、それに応じようとしない																				
②自分がして欲しいことや欲しいものを伝えられない																				

#### ＜指さし＞

①相手が指さしをした物やその方向を見ようとしない																				
②欲しい物や行きたい場所を指さしたりしない																				

#### ＜模倣＞

①簡単な動きでも模倣をすることがない																				
②簡単な動きを部分的に模倣しようとする																				
③不正確な模倣になることが多い																				

#### ＜相互関係＞

①話しかけたり、笑いかけたりしても応じることが少ない																				
②目が合わない																				
③周囲の様子の変化などに関心がない																				
④教師の働きかけの意図を感じ取ることが難しい																				

### (2)言語の受容と表出に関すること

#### ＜意思の表出＞

①「はい」「いいえ」や「イヤ」の意思を表すことができない																				
②クレーンなど何らかの要求行動をするが、伝わりにくい																				

#### ＜言葉の理解＞

①名前を呼ばれても返事をしない																				
②「○○さん」と尋ねたとき、注視や指さしができない																				
③身近な物の名称を言われてもそれを見たり、手に取ったりしない																				
④自分の身体部位の名称がわからない																				
⑤簡単な言葉(ください、いいよ、どうぞ、だめなど)での指示がわからない																				
⑥「おしまい」「おわり」と言われてもその活動をやめない																				

#### ＜発声＞

①声を出そうとするが、声にならない																				
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### ＜呼吸の調整＞

①話そうとほするが、首や肩、体幹、背に強い筋緊張があり声を上手く出せない																				
②呼吸が浅いために小声で一気に話してしまう																				
③話そうとすると肩を上げたり、顔を前に突き出したりする																				
④思ったように息を止めたり、出したりできない																				
⑤呼気と吸気の調整が上手くできない																				

⑥息を吸い込みながら、声を出している										
⑦息を長く出すことが難しい										

〈構音器官の働き〉

①唇の動きが十分でない										
②舌を口外へ出したり、前後左右になめらかに動かしたりできない										
③あっかんべーをすると舌に力が入る										
④口が大きく開かない										

〈発音〉

①発音がはっきりしない										
②喃語のような発音はある										
③母音、または子音がはっきりしない										
④単語の一部が抜けている										
⑤単語の一部の音を置き換えている										
⑥単語に別な音を加えて発音している										

〈言葉の表出〉

①音や言葉をまねすることができない										
②声を出して伝えようとするが、言葉になりにくい										
③言葉で要求を伝えることがない										
④物や人の名称を言葉として表出しない										

(3) 言葉の形成と活用に関すること

〈言葉の習得〉

①知っている言葉が少ない										
②話す単語の数が少ない										

〈文の習得〉

①一つの単語で伝えることが多い										
②まとまりのある文で話さない										
③助詞を使うことができない										

(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること

〈具体物や絵カードの活用〉

①物を選択することができない										
②絵カードを選択することができない										
③言葉や文字のみでは理解できない										
④絵カードを限定された場面でしか使えない										

〈文字の活用〉

①文字を知っているが発声できなかつたり、言葉が不明瞭だつたりする										
----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

〈指文字や手話の活用〉

①内言語はあるが、身振りやサインで自分の意思を伝えることが難しい										
②運動・動作のコントロールが難しく、正確な身振りを行うことが困難である										
③聴覚障害があり、音声を聞いたり、話したりすることが難しい										

〈機器〉

①動きが少なく、自分から動いて人に関わるのが難しい										
②声を出したり、文字を選んだりしてコミュニケーションをとることが難しい										
③絵や写真を理解できるが、書いたり話したりすることが難しい										
④文字や言葉を理解できるが、書いたり話したりすることが難しい										

(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

〈状況に応じたコミュニケーション〉

①相手の話を最後まで聞かないで、すぐに話そうとする										
②自分の話したいことだけを一方的に話す										
③質問に対する適切な返答をすることができない										
④相手の気持ちを察することができず、ひどい言葉や嫌がる言葉話す										
⑤場所や場面、状況などに応じた適切なあいさつができない										
⑥敬語が使えず、誰にでも友達に話すような言葉で話す										
⑦誰にでも友だちに送るようなメールを送る										
⑧場所や場面、状況などに応じた声の大きさと話せない										